

## 第91回例会

### コンヴィヴィアリティ×ことば

#### ■ 話題提供者 ■

大平 幸(立命館アジア太平洋大学)

家根橋 伸子(東亜大学)

古屋 憲章(山梨学院大学)

#### ■ 日時 ■

2023年 6月24日(土) 19:00~20:30

オンライン(Zoom)開催

※参加費無料 要事前申込

お申込は[こちら](#)から

※非会員の方もご参加になれます。



これは、私たちが、人とことば、ことばと教育、ことばと社会の関係を少しだけ変えるための物語です。

第9回年次大会では「コン\_ヴィヴィアリティと言語教育」をテーマとし、社会において、言語教育に関わる私たちがどのようにコンヴィヴィアルな社会を実践していけるのかということについて考え、話し合う場を作りました。話し合いの最中、フロアから「ことばについての議論が足りない」という意見が出されましたが、残念ながら時間切れとなり、その後、議論が展開することはありませんでした。

今回の企画では、「ことば」により大きな焦点をあて、ことばやことばの教育を通して、私たち一人ひとりがどのようにコンヴィヴィアルな社会を実践していけるのかについて、考えたいと思います。

今、ことばをめぐる状況は、コンヴィヴィアルなものとなっているのでしょうか。もし、なっていないとすれば、その原因は何なのでしょう。イリイチの、「コンヴィヴィアリティのための道具」という概念は、私たちにそのことを考えるきっかけを与えてくれます。

あなたの立つ場はどんな〈場〉ですか？その〈場〉から、コンヴィヴィアルな社会を創るためにどんなことができるでしょうか。

「ことば」をキーワードに、ゆるやかに対話していきます。

